



こんにちは

白子の議会

です

第126号

平成29年11月16日

編集発行
千葉県白子町議会
☎0475(33)2169



▲ 新米給食おいしいね!

第3回 定例会

平成29年第3回定例会が9月13日と21日開催されました。

一般質問は、5名の議員が町政をただしました。

- 5議員が一般質問…………… 2～6ページ
- 条例の制定・補正予算等の質疑応答…………… 7ページ
- こんなことが決まりました、行政視察研修報告… 8～9ページ
- 防災講演会を開催します…………… 10ページ



町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は12月13～15日の予定です。

詳しいことは議会事務局へ。TEL33-2169
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

一般質問

町政をきく

海岸浸食について

宗島 理仁 議員

議員 中里海岸は海水浴場など貴重な観光資源となっておりますが、年々浸食と浜がけの状態が続き、日常生活に支障が出てくるのではないかと不安が増していくばかりです。

このような状況下で、中里海岸における浸食の状況及び砂浜の保全をどのようにするのか見解を伺います。

要望を重ねていく

町長 白子町は、全域が新たな施設整備と養浜を組み合わせ実施する範囲に含まれており、ヘツドランドや離岸堤の施設の整備とあわせて、南白亀川の河口に堆積した砂を中里海岸へ年間2万立米ほど導入するサンドリサイクルが検討されています。
これは今までの養浜を

した量の約4倍の量になります。この計画を100%実現してもらおうように努力をしていきたいです。



地方創生推進交付金について

議員 今年度の地方創生事業の柱となる事業を進めていくべく、我が町も地方創生推進交付金を申請していくとのこと

した。

我が町においてはどのような地域再生計画を策定し、地方創生推進交付金を活用していくのか、また、平成29年度から平成31年度までの3年間で事業計画期間としていますが、この計画期間でどのように進めていくのか、詳細を伺います。

げんきなまちづくり実現のため

町長 元気をコンセプトとした体験型観光を強化し、短期的には交流人口の増加を図るとともに、空き家等を活用した短期滞在を提示して、移住に向けた誘導に取り組みしていきたいと思っております。

また、昨年取り組んだ「げんき調味料」の商品化への取り組みも進めています。



白子町の新しいPR戦略について

議員 地方創生の推進などを背景に、全国の地方自治体がPR合戦を繰り広げています。

しかし、自分たちが売りたいものをそのまま情報発信しても、必ずしもそれが話題になるとは限らず、そこには戦略的なコンテンツづくりと情報流通経路の設計が必要になるかと思えます。

地方創生推進交付金を活用し、どのようにPR施策をする予定なのか、詳細を伺います。

知名度向上を図る

町長 新しい白子の魅力PR事業については、白子町の知名度の向上を図ることを目的に推進交付金を活用する予定です。

白子町の魅力をどのように届けたらよいか、効果が出るようになるか、PRしながら調査も一緒にしていきたいと思っております。

有害鳥獣について

北田 百人 議員

議員 近年、鳥類・小動物による農作物への食害や住宅や物置などへの侵入など、様々な被害が発生しております。

町は有害鳥獣についてどのような対応策を用意しているのか、また発生件数や被害額など具体的な状況を把握しているのか伺います。

年 4 回 駆除 を 実施

町長 カラス、ハクビシン等の小動物による被害は近年の厄介な問題の一つであります。白子町では猟友会の協力のもと、今年度はカラス 55 羽、土鳩 52 羽の合計 107 羽を駆除し、前年度と比較して 9 羽多く駆除致しました。

被害額や発生件数は把握できていないのが現状ですが、ハクビシン等の小動物においては、県から捕獲箱を借入れており、

必要な町民に貸出しを行っております。この甲斐もあり 8 月 3 日までにアライグマ 41 頭、ハクビシン 12 頭を捕獲しました。有害鳥獣駆除の有効な対策は現状ではこれしかない状況です。

電気柵の設置について

議員 イノシシを始めとする大小の有害鳥獣の侵入を防ぐため、電気柵の設置の推進を図ると共に、その設置に対する補助事業の創設についての検討や実施予定について伺います。

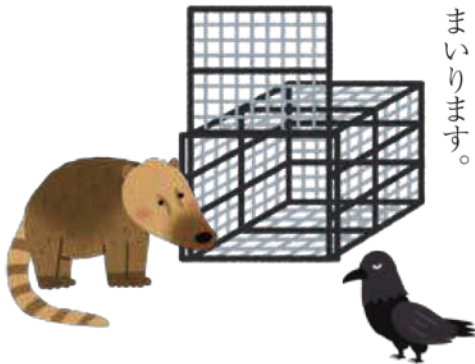
情報収集のあと

町長 長生管内の一部の町では、山の手でイノシシが多く目撃されており、地域ぐるみの電気柵

設置に対し補助を実施しております。

ここ白子町でも本年 4 月初めに白子神社付近でイノシシの目撃情報が寄せられました。イノシシの捕獲には専門知識が必要なことから業者委託によって箱わなを設置致しました。しかし、捕獲には至りませんでした。

電気柵設置に対する補助実施については、現在検討段階であり、さらに情報収集を行い、確実な結果が出るように図ってまいります。



農業委員会法の改正について

議員 農業協同組合法等の一部を改正する等の法

律により農業委員会等に関する法律が一部改正され、平成 28 年 4 月 1 日より施行されております。

これにより農業委員会の選出方法において、従来の選挙による公選・推薦による専任制が廃止となり、町長が町議会の同意を得て任命する選出方法に変更になりました。

現在の農業委員の任期満了は平成 30 年 3 月 25 日でありますが、新しい農業委員の任命について今後どのような手続きを踏んでいくのか、町長のお考えを伺います。

改正点は 3 つ

町長 1 点目は事務の重点化にあります。任意業務でありました、農地等の利用の最適化の推進に関する事務、農業委員会のもも重要な事務だと思っておりますけれども、これがきちんと位置づけられてきました。

2 点目は原則過半数は認定農業者である、これが大きく変わった点だと思

います。

農業委員の募集方法でありますけれども、農業者 3 名以上からの推薦でありますとか、農業者が組織する団体からの推薦、また一般公募の 3 つの募集方法があります。募集期間は概ね 1 カ月程行うことになっております。

3 点目は農地利用最適化推進委員というのが新たに設けられることになっております。

以上の 3 つが大きな改正点になります。今後のスケジュールですけれども、条例改正が必要になりますので、12 月議会に上程させて頂きたいと思っております。町議会で承認を頂きました後に来年に公募・推薦の受け付けを開始したいと思



高齢者介護支援について

東海林 東治 議員

議員 生活支援コーディネーターの配置と施策の検討をしているのかを伺います。

現在準備中

町長 平成 27 年度より町社会福祉協議会に配置し、住民主体のサービスマン、民間事業者、ボランティア、等々のサービスマンを総合事業と組み合わせ有償ボランティアの人員を募集し、現在、介護予防教室 17 名、ふれあい市民館事業 10 名、重度化防止推進委員 7 名を配置し活動しており、今後、説明会を開催し、参加者、協力者を募集し、充実してまいります。

認知症総合支援

議員 保健、医療、福祉の専門職による個別訪問支援を実施する認知症初

期集中支援チームの配置、地域の実態に応じた認知症地域支援推進委員の配置が求められており、その情報収集する上で、どの様に住民に広くアセスメントするのかを伺います。

早期に対応



町長 地域包括支援センターに認知症初期集中チームを配置し、保健師、社会福祉士の専門職、認知症サポート医師を構成し、医療と介護等の連携を早期に対応してまいります。

介護予防

ケアマネシメント事業推進は

議員 利用対象者は、65 歳以上全員と要支援者、

要介護者で、基本チェックリストを用い、このシステムの活用でサービスマンに繋げる必要があると判断された住民への事業であります。どの様な施策で推進するかを伺います。

個々の課題分析を

町長 この事業は、市町村の直接実施であります。介護予防、要支援者は、平成 29 年 7 月の件数は 100 件あり、本人、家族と話し合い、状況を課題分析し、要介護に進まぬ目標の設定と要介護状態の軽減また、悪化防止に在宅介護支援事業者等々の協力で官民一体で推進してまいります。

伝統漁法の観光地引網の推進を

議員 九十九里浜の地引網漁発祥の地白子町、現在、高齢化が進み、伝統を継承する事は困難をきたしてまいります。

現在、網元が一ヶ所で、天候、また、波の状況で

実施の可否、その度ごとの準備や人員配置は、大変なご苦労をおかけいたしていると思います。補助金制度の拡大または、伝統文化継続推進団体等の創設を行政、観光協会一体として検討されているかを伺います。



伝統漁法地引網の様子

貴重な伝統継承

町長 白子町は九十九里浜の地引網漁の発祥の地、460 年前からの大元で九十九里浜全域がこの地より繁栄をもたらしてまいりましたが、現在は残念ながら夏期観光地引網だけとなりました。

夏の海岸の貴重なイベントである事は重々承知

しております。今後、後継者を作って頂ければと期待しております。

映画製作ロケ地奨励推進を

議員 地域プロモーションとして、観光振興、文化振興、産業振興、経済振興、更には地域活性化地域資源や町の発見、人的交流等々を生み出す起爆剤として、各都道府県市町村がロケーションサービスマンを設立し、多くの地元住民が出演者エキストラとして活躍し、地域と製作者が一体となり、世界に大きく地域活性化を飛躍した市町村があります。本町においては施策、検討されているかを伺います。

実施計画作成済み

町長 PR 不足かもしれませんが、作成済みです。今後も更なる観光振興の施策の一つとして、可能な限り支援をしてまいります。

白子町アクア健康センターの再開の可能性はあるのか

石井 和芳 議員

議員 昭和42年に町営温水センターとして発足し、48年に砂風呂、平成2年に白子町アクア健康センターが運営開始されました。

このアクアセンターも平成3年から10年までは、年間8万人以上の入込があり、1億2千万円から1億3千万円の売り上げがあり順調でありました。

しかし平成11年から18年までは赤字補てんをするために、2千万円〜4千万円の一般会計からの繰り入れがあり、その結果、業務形態の見直しを図り、指定管理者のカネイ産業に業務委託するも、設備老朽化により平成21年に閉館されています。



何故このような形で廃業に至ったのか

議員 平成3年〜18年までの決算書を精査させていただきます。

第1番目として再投資に必要な減価償却分の積み立てが一切されていませんでした。

第2番目として売上高人件費比率が一般的な入浴施設に比較してみると、ほぼ近い比率でありました。政策投資銀行の調査資料では、この規模の入浴施設であるならば、23%〜高くて30%の売上高人件費比率とされています。

比較的好調であった平成3年〜10年でも44.3%、平成11年〜18年に至っては56.1%になっています。町職員が入浴施設の従

業員であれば、採算が合わないのは自明の理であります。町長の見解を伺います。



温泉施設としての再開は不可能

町長 アクア健康センターの活用については、休養施設検討委員会の提案として、福祉施設、農産物直売所、屋内運動施設、等がありました。町民の理解が得られませんが、であろうということと、海岸に面していることもあり、津波等の影響による心配も多少ありました。またこの施設は民間業者が何らかの形で活用してくれれば良いと思っています。しかし温泉施設としての再開は不可能だと思えます。

確かに減価償却等を積み立てておけば、相応の修理費はあったと思われ

ますが、町営の施設は何処も減価償却をしていません。

リニューアルして賃貸しては

議員 提案ですが、リニューアルして民間業者に賃貸したら良いと思います。仮に2〜3億円かけても、投資利回り10%で回せば十分採算がとれ、10年で回収可能です。

第2案として白子荘とアクアセンターを一体と考え、再開発をしたらどうでしょう。白子荘とアクアセンターの底地を国から払い下げしてもらい、フリーハンドで絵を描けばいいと思います。近隣ではホテルも飲食店も頑張っている場所です。白子町のランドマークにするくらいの意気込みで取り組むべきと思いますが見解を伺います。

リスクもある

町長 今までも申し上げましたように、町があそ

こに投資して、確かに石井理論で言えば儲かりますが、リスクも相当あります。そういうことを考えたとき、今の時代、町が率先してやるべきではないと思っています。

責任の所在は

議員 今までのような形にしてしまった責任はどうなるのですか。

先人たちの素晴らしい発想、アイデアが詰まった入浴施設は町民として自慢できるものでした。

また、町民もその恩恵を受けていた人は多かったです。近隣のホテル、飲食店も盛況であります。あの場所を再度活性化する責務があります。

リスクというものは上手く分散をすれば、かなり軽減されます。スキームをうまく組んでやれば、手を挙げる民間業者も多い様に思います。

健幸ポイント事業進捗状況と今後の見通しは

市川 隆子 議員

議員 町内での日常生活では車が必要品となっていて、歩くのは日常生活や仕事だけになりがちです。その結果、50代くらいになると、筋力の衰えも実感するようになります。

ウォーキングは、自分の都合の良い時間にでき、有効な運動だと思います。

健幸ポイント事業に最初から参加している人は、体の変化を実感している人もいます。ですが、進捗状況と今後の見通しを伺います。

今後も支援しよう

町長 健幸ポイント事業は1000人を超え、40歳以上の人口の13.3%となっています。

病気の予防が期待でき、成果も大きく出ています。

今後も継続して、より良い成果、健康のまちづくりの一助にしていきたいと思っています。

今年度から歩数計の読み取りがコンビニでもでき、来年以降にスマートフォンアプリで、歩数データを送信できるようにになります。

今後も周知を図り、継続的な運動の実践を支援していきたいと思っています。

南白亀川遊歩道 早期に防犯灯設置を

議員 南白亀川遊歩道ウォーキングコースは、現在工事中ですが、堤防近くの住民や、早朝や夕方歩いている人からも防犯灯が欲しいという声があります。

以前の質問で、県に要

望して設置するとの答弁がありました。再度、防犯灯の整備についての考えを伺います。

なるべく多くの設置を図る

町長 要望をしていたわけですが、河川改修をしていますので、工事が終わり次第、もう一回県の土木事務所と協議して、なるべく多くの設置を図っていききたいと思っています。



高齢者肺炎球菌ワクチン再接種への補助は

議員 高齢者肺炎球菌ワクチンの定期接種が始まっていますが、欧米では、ハイリスクの方に5

〜6年ごとの再接種が認められているそうです。

ハイリスクの方が、今後再接種の時期に医師と相談して受けたいと希望する場合には、補助する考えがあるか伺います。

様子を見たい

町長 接種一カ月で効果はピークに達し、その後4年間は効果が維持できます。その後5年以降は効果が減少しますが、8割程度の効果が継続するそうです。

2回目以降は、副作用の問題もありますので、もう少し様子を見させていたただきたいと思っています。

国保保険者努力支援制度について

議員 国保広域化による新たな財政の仕組みに、国保事業納付金があります。県は、収納されるべき必要額を算定しますが、町の国保財政に影響が予想されるのが3つあ

り、その中の1つが保険者努力支援制度です。

保険者努力支援制度の県への配分割合のあり方とその使い道については、町の国保財政に影響を与えると思われますが、保険者努力支援制度について伺います。

保険者の努力に対し国からの交付金

町長 保険者の努力を判断する評価は、特定健診の実施状況、ジェネリック医薬品促進の取り組みや収納率の向上などの目標があり、それに対して特典を与え、国から交付金が配分されると言う制度であり、国の予算は前倒しして30年度は500億円と言う数字が示されています。



条例の制定・補正予算等に 対する質疑応答

白子町公共施設整備基金
条例の制定について
議案第 2 号

【宗島理仁 議員】

議員 白子町公共施設整備基金条例の制定について、町内に公共施設が 31 施設ありますが、これら全ての整備、改修及び維持補修を目指すということなのか伺います。
また、目標額等を設定していませんが、今後の改修するためのスケジュールがあれば伺います。

町長 老朽化した施設等が多くありますが、全部改修することは、難しさがあります。
目標額は設定しておらず、積み立てしていき、その後、建て替えの検討をしていきます。

町道の路線認定について
議案第 3 号

【宗島理仁 議員】

議員 町道の路線認定について、若者定住促進住宅地として整備し、公共事業だからということ町道として認めるということだと思えますが、実際、同じような通り抜けできない町有地の道路が町内にたくさんありますが、この取り扱いの違いについて、見解を伺います。

町長 若者定住促進住宅地は、その先の突き当りが通り抜けのできるような道路になります。ただ話し合い等はしておりますが、可能性はあるということだと思います。

平成 29 年度白子町一般会計第 2 回歳入歳出補正予算について
議案第 4 号

【宗島理仁 議員】

議員 緊急避難施設整備事業について、建設予定地はどの場所に決定したのか。設置予定箇所とその面積はどのくらいあるのか伺います。
次に、地質調査費は幾らになるのか内訳を伺います。

総務課長 牛込東地区の畑が建設予定地になり、面積は 9 千 m²です。
築山の上にステージを設けるということで変更した関係で費用が増大し、地質調査につきましては、90 万円が 180 万円という額になっています。

議員 避難施設について、既に 9 月の下旬を迎えております。予定どおり年度内の完成が可能かどうか、見通しを伺います。

町長 年度をまたいでしまいう可能性が大きいですが、ご了解いただきたいと思います。

【大和秀一 議員】

議員 基金についてですが、今回増額補正された「ふるさと応援基金」をはじめ「公共施設整備基金」「財政調整基金」等多くの基金があります。この基金の考え方について、財政硬直化への懸念も含めて伺います。

町長 ふるさと応援基金については、教育振興を目的として活用する事を基本としています。先般購入したマイクログラス「チューリップ号」もこの基金を使いました。基金を積み増す事で財政の硬直化につながる事はないと考えています。各種の基金を創設する事により、それぞれの事業運営がむしろやり易くなると思えますし、可能性も広がって来ます。

財政調整基金で全部積

み増しをしても良い訳ですが、目的基金を創る事により、国の交付税措置は良い結果が出て来ると私は思っています。一般財調はあまり増やさない工夫をしていく考え方をしています。

平成 29 年度白子町介護保険事業特別会計第 1 回歳入歳出補正予算について
議案第 6 号

【市川隆子 議員】

議員 職員の賃金についての内容と、複数での対応をしているのか伺います。

健康福祉課長 臨時職員 1 名です。
認定調査員 1 名募集中ですが、なかなか見つからず、調査員は臨時職員 2 名で対応しています。

議員 ふれあい幸民館の対象者と個人負担について伺います。



健康福祉課長 一般介護予防事業、以前の二次予防対象者を対象に行っています。

利用者負担は、1人当たり3カ月千円いただいています。

議員 受け入れは何人くらい可能なのか。

また、応募が多くなれば、定員は増やせるのか伺います。

健康福祉課長 現在、南白亀、白濁ふれあいセンターは、それぞれ15名で定員いっぱいです。関は10名の応募があり、全部で45名が利用可能です。今後、応募が多くなれば検討していきます。



【議案第1号】

千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について(可決)

■ 千葉県市町村総合事務組合の共同処理事務に新たな事務として「軽自動車税の賦課徴収に関する申告書の受付」を追加するため、関係地方公共団体と協議するに当たり、議会の議決を求めます。

【議案第2号】

白子町公共施設整備基金条例の制定について(可決)

■ 防災拠点である役場庁舎をはじめ一部の町有施設においては、耐震性不足や老朽化が進んだ状況であることから、今後の公共施設の整備に係る経費の財源に充てるため、新たに「白子町公共施設整備基金」を設置しようとするものです。

【議案第3号】

町道の路線認定について(可決)

■ 新たな町道として町道3372号線(白子中学校南側・定住促進分譲地内)を路線認定するに当たり、議会の議決を求めます。

【議案第4号】

平成29年度白子町一般会計第2回歳入歳出補正予算について(可決)

■ 白子町一般会計予算に歳入歳出それぞれ2千3百34万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ46億4千3百

56万8千円とするものです。

【議案第5号】

平成29年度白子町国民健康保険事業特別会計第1回歳入歳出補正予算について(可決)

■ 白子町国民健康保険事業特別会計予算に歳入歳出それぞれ2百78万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ19億8千9百18万7千円とするものです。

【議案第6号】

平成29年度白子町介護保険事業特別会計第1回歳入歳出補正予算について(可決)

■ 白子町介護保険事業特別会計予算に歳入歳出それぞれ6千5百53万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ13億6千3百10万9千円とするものです。

【議案第7号】

平成29年度白子町休養施設事業特別会計第1回歳入歳出補正予算について(可決)

■ 白子町休養施設事業特別会計予算に歳入歳出それぞれ2百60万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ9百49万1千円とするものです。

【議案第8号】

平成29年度白子町ガス事業特別会計第1回歳入歳出補正予算について(可決)

■ 白子町ガス事業特別会計予算にガス事業費用34万3千円を追加するものです。



決算審査特別 委員会を設置

平成28年度白子町一般会計歳入歳出決算及び5事業特別会計歳入歳出決算の審査を行うため、決算審査特別委員会が設置されました。

委員会は10月3日に一般会計の審査、10月30日に特別会計の審査のための会議を行い、次の定例会に報告書が提出されます。
選任された決算審査特別委員会委員は次のとおりです。

委員長 梅澤 哲夫
副委員長 宗島 理仁
委員 大多和 秀一
齋藤 鉄也
酒井 良信
石井 和芳
北田 百人



議会行政視察研修

議会は、10月11日から13日まで2泊3日の日程で、大分県及び福岡県に行政視察研修のため出張しました。

大多和議長をはじめ議会議員9名及び事務局職員2名が参加しました。



竹田市役所の会議室

大分県竹田市では、「温泉療養保健システム・竹田式湯治」の取り組みなどを研修しました。
また、福岡県朝倉市では、豪雨水害による被災地の復興状況を確認しました。

研修で学んだことを、今後の施策に生かして参りたいと思います。



竹田市の温泉療養施設「御前湯」の玄関前

「防災講演会」を 開催します。

来る 12 月 10 日（日）に
青少年センターホールに
おいて、白子町議会主催
による、防災講演会を開
催します。
講師には、テレビ・ラ

ジオ等で活躍され、お茶
の間でも人気の高い、山
村武彦先生をお招きして
います。
どなたでもご自由に参
加できますので、皆様お

誘い合わせの上、ご来場
ください。

【日時】

平成 29 年 12 月 10 日（日）
午後 1 時 開場

1 時 30 分 開会

【場所】

白子町青少年センター
ホール



テレビ・ラジオで
活躍中!

講師 山村武彦先生

【講師】

○防災システム研究所

所長

○防災・危機管理

アドバイザー

山村 武彦
やまむら たけひこ

【講演テーマ】

これからの

防災・危機管理

～個人の備えと

組織の対応～

【講師プロフィール】

新潟地震を契機に、防
災・危機管理アドバイ
ザーを志し、防災システ
ム研究所を設立。世界中
で発生する災害の現地調
査、研究を実施。日本各
地での講演、報道対応、
執筆活動を通じた防災意
識啓発に取り組み傍ら、
企業や自治体の防災・危
機管理アドバイザーとし
て、BCP、防災・危機管
理マニュアルの策定や改
定など、災害に強い企業・
街づくりに活躍中。実践
的な防災・危機管理対策
の第一人者。

編集後記

長雨の続く今日この
頃ですが、各地からは
紅葉の便りが続々と届
いております。巷では
選挙戦が真只中で現状
の安定政権を支持する
のか、安倍一強体制に
チェックを入れるのか
興味深いところです。
ところでわが町は地
方自治法の予定してい
る二元代表制が機能し
ているかであります。
首長選挙においては
7期連続の無投票であ
り、住民が持っている
基本権である参政権が
一面で否定されてい
ます。
地方議会の最大の責
務は、執行部の実施し
たことへのチェック機
能です。執行部の実施
してきたことを、ただ
追認するだけの議会で
あってはならない。今
後とも十分肝に銘じて
活動して行きます。

石井和芳